

講義名	(対面) *中国語 B		
科目区分	グローバル		
担当教員	森 宏子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

<b>主題と概要</b>			
<p>この授業では中国語の基礎を学びます。中国語はよく「発音よければ半ばよし」と言われます。発音が命といっても過言ではありません。中国語学習の最初の目標は、正しく発音ができ、聞き取れ、ピンイン（中国語音のローマ字表記）がきちんと読めることです。私たち日本人にとって中国語学習は、漢字を理解できることが大きなメリットですが、逆にデメリットになることもあります。たとえば、漢字を見るとなんとなく中国語を理解した気分になり、発音を大事にしないということがよく見られます。それでは中国語を真にマスターすることはできません。中国語を音でキャッチし、理解できるようになりたいものです。テキストでは基本的に活用度の高い表現を学びます。半年の学習でも、けっこう使える言い回しを学ぶことができます。本学には中国からの留学生がたくさん在籍しており、中国語がいつでも使える恵まれた環境にあります。学んだ中国語をどんどん使って、留学生と積極的に交流してほしいと思います。</p>			

<b>到達目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>中国語学習を進めていく上での基礎的知識（発音、ピンイン表記）を身につける</li> <li>基本的な中国語を聞き、質問や状況に応じた応答ができる</li> <li>基本的な文の意味を理解でき、書くことができる</li> </ol>			

<b>提出課題</b>			
<p>毎回、課題があります。課題は主に授業で学んだ文法のドリルなどになります。課題提出はRYUKA Portalの「レポート提出」から提出してもらいます。</p>			

<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>			
<p>毎回の課題に対しては、翌週の授業で講評を行います。</p>			

<b>評価の基準</b>			
<p>次の3点を総合的に判断します  <ol style="list-style-type: none"> <li>平常点（出席状況、授業態度）</li> <li>課題提出</li> <li>定期試験</li> </ol> <p>なお、この授業は対面授業を予定していますが、状況によって授業形態が変わる可能性があり、授業の在り方が変われば、各評価の割合も変わります。詳しくは、随時授業において説明します。</p> </p>			

<b>履修にあたっての注意・助言他</b>			
<p>教科書は必ず各自購入してください。</p>			

<b>教科書</b>				
.中国語1年め.	緒方昭・小林光考・胡慶華	白水社	2300+税	978-4-560-06928-8

<b>プリント資料及び参考文献</b>				
<p>プリントはRYUKA Portalの「講義連絡」にアップします。</p>				

<b>授業計画</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>ガイダンス、発音練習</li> <li>第1課 中国人留学生と知り合う</li> <li>第2課 携帯の写真を見て</li> <li>第3課 いっしょに勉強しよう</li> <li>第4課 ファストフード店で</li> <li>第5課 Tシャツを買う</li> <li>中間テスト（状況によって実施しない可能性があります）</li> <li>第6課 いっしょに遊びに出かける</li> <li>第7課 花火は何時から</li> <li>第8課 学園祭</li> <li>第9課 カラオケに行く</li> <li>第10課 中国の映画を見る</li> <li>第11課 韓国を前にして</li> <li>第12課 空港で</li> <li>予備日 1-1.5回の授業で1課を消化するペースを基本とする</li> </ol>				

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>				
ア：PBL（課題解決型学習）				
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）				
ウ：ディスカッション、ディベート				
エ：グループワーク				
オ：プレゼンテーション				
カ：実習、フィールドワーク				

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>				
<p>（授業前）新しい課に入る時は、事前に単語帳（ワークシート）を別途配布します。単語帳は自宅で完成させてください。また、次の授業で学ぶところにざっと目を通すことをお勧めします。それをするだけでも、授業の理解度が格段にアップします。（1時間半～2時間）</p> <p>（授業後）復習はしっかりと。語学は積み上げ方式です。しかも、みなさんにとって中国語は初めて学ぶことばで、学ぶことすべてが新しく、覚えることがたくさんあります。毎回授業で学んだことを自宅でもう一度振り返り、しっかり理解していくことが必要です。授業時間内にできなかったドリルは宿題とします。（2時間～2時間半）</p>				

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>				

<b>実務経験の有無及び活用</b>				
<b>備考</b>				
<p>この授業は「対面授業」を予定しています。</p>				